

WAKUWAKU通信

2025
VOL.17



【2025年6月28日(土)】おせつかいの輪ひろがる



認定NPO法人

豊島子ども WAKUWAKU ネットワーク

発行日：2025年8月 発行者：認定特定非営利活動法人豊島子どもWAKUWAKUネットワーク

〒171-0014 豊島区池袋4丁目24番3号 武川ビル2階

WEB : <http://toshimawakuwaku.com/> TEL : 050-5526-1229 Mail : info@toshimawakuwaku.com

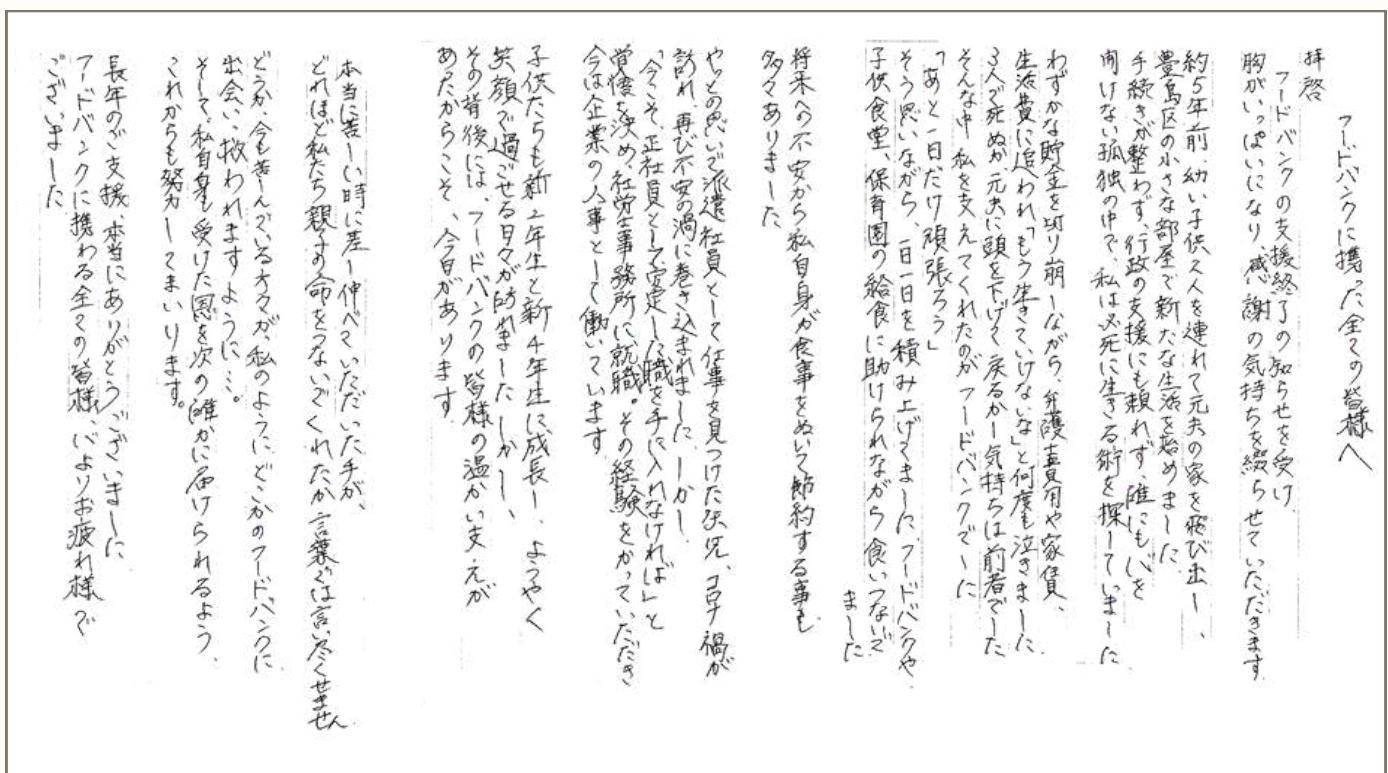
おせっかいの輪ひろがる

2025年6月28日、IKE・Bizの多目的ホールにて、「おせっかいの輪ひろがる」というイベントを実施しました。2020年3月から2024年度末まで実施してきた「としまフードサポートプロジェクト」を通じて広がったおせっかいの輪を、多様な皆様のトークを通じて報告しました。始めに高島豊島区長より力強いエールをいただきました。毎月のように共に活動した地域の仲間や企業社員様から活動に参画した理由やご自身の変化、さらにつながりから生まれた活動を紹介してもらいました。

食支援を受けて子育てしてきたひとり親Aさんからは、抱えていた葛藤や地域に対する今の思いを。高校生B君からは、乗り越えてきた困難について話してもらいました。Aさんの声につきましては、ご本人の許可を得て下記に全文掲載させていただきます。イベントに参加した多くのみなさんは、自分だけでは難しいけれど、居場所や食支援を通じておせっかい（節度のある介入）することは、さほど難しくなく、おせっかいが広がる先に、子どもの笑顔や安心安全な未来を共創できるワクワクを感じたことと思います。

イベント後半では、WAKUWAKU中期ビジョンを発表しました。おせっかいを受けた子どもが成長し、どのような地域未来を創ってほしいのかを妄想して、そのために今取り組むべき課題を中期ビジョンに盛り込みました。

どうぞこれからもWAKUWAKUへのご支援ご協力をお願い致します。一緒に子どもたちにおせっかいしましょう！



多文化ベトナム子ども食堂

Xin Chào! (シンチャオ！ ベトナム語でこんにちは！)

5月25日、WAKUWAKU×ルーツという外国ルーツの子どもの居場所活動の一環で、多文化ベトナム子ども食堂を開催しました。40人の参加者は、ベトナムをはじめ、ネパール、パキスタン、日本、中国、シンガポールと多彩な面々です。

去年、フィリピン子ども食堂に参加したあるベトナムの方がその時に「私もベトナム料理をみんなに食べてほしい！」と思い、今回講師を引き受けってくれました。一週間ほど休みなく働いてらして「疲れてるだろうな」と思うのに、打ち合わせのたびに「楽しみだね～」と当日を想像しながらメニューを考えてくれました。

コムガー Corm Gà 鶏肉と玉ねぎでたいた、ターメリックの黄色が鮮やかなご飯とチキン。うまみたっぷり！

バインチャンヌン Bánh tráng nướng 卵、ソーセージなどをライスペーパーに乗せてパリパリに焼く、お手軽屋台料理。

生春巻き Gỏi cuốn 人参、レタスなどの野菜とお肉orエビをライスペーパーで巻き巻き！

チエー Chè お豆とタピオカのデザート



今回はハラール・ベジタリアンの参加者向けに魚肉ソーセージを使ったり、チキンの代わりにアボカドも用意しました。全ての多様性に応じることはなかなか難しいですが、様々な隣人がいる池袋。いつもの子ども食堂でも、できる工夫を考えることが自然に行われている気がします。

生春巻き挑戦者さん達は、テーブルの隅々までラップを敷いてその上にライスペーパーを置き、上から霧吹きで水をかけて湿らせたら具材を巻いていきます。中身を入れ過ぎたり、巻き方が緩かったりで崩れ生春巻きもありましたが、それもまたご愛敬！

そして2時間半後には、パクチーとナンプラーの香り漂うベトナム料理の品々が完成しました。おかわりする人もたくさんいました。最後はハスの葉茶でほっと一息ついて終了となりました。

今年もウォータースライダー開催！

8月3日、台風一過の夏空の中、開会式が始まりました。WAKUWAKU栗林代表、東京豊島ライオンズクラブ金会長の挨拶があり、高際豊島区長がそれに続きました。今年は、ライオンズクラブの60周年記念で、プレーパークにプール、テント、収納庫を寄贈いただき、当日はこども達のために焼そばとラムネなどの青空子ども食堂も開催してくださいました。

ウォータースライダーが始まると、水しぶきをあげて滑り出す子どもたち。小学生用プールでは、ボランティアの学生との水掛け遊びが始まり、みなビショビショになりながら走り回ります。プレーパーク横の広場では寄贈の大きなプールが設置され、保護者の見守りの中、乳幼児が水と戯れました。

多くの大学生、社会人のボランティアが参加し、子どもたちの安全を見守り関わってくれました。さらにプレーパークで育った中高生達も参加。自主的に考え現場をサポートしてくれました。

救護所には近隣の保護者、他プレーパークからの応援スタッフ、第2救護、休憩所の集会室では「ほんちょこ食堂」のスタッフの方々がサポートを行ってくださいました。

なんとこの1日のために、総勢50人以上の方が、集まってきたのですでした。主にプレーリーダーと世話人の計3名にて進めてきた準備でしたが本当に多くの方々のサポートがあって無事に終わることが出来ました。

皆様に心より感謝申し上げます。



ホームスタートわくわく活動報告会

6月14日10時から、ホームスタートわくわく活動報告会を開催しました。

栗林代表が「ホームスタートは乳幼児の家庭と地域をつなぐ」と挨拶しました。続いて2024年度の報告があり、新たに27家庭を訪問し40人のお子さんと関わったこと、現在訪問ボランティア（以後、ビジター）は55人登録していること、利用者はワンオペ育児が多いこと、孤立感を感じていることが報告されました。

次にホームスタートを日本に導入した、西郷泰之さんより創設当時のお話を聞きました。

「2004年に研究でイギリスに行った折、公的な資料にホームスタートという民間支援が出ていて興味を持った。親の意向を最大限尊重できるということが他にはない特長だと思った。このサービスの良いところはボランティアなのでフレキシブルに動けるところ。他の地域にも広がって欲しい」とエールを送ってくださいました。

続きビジターと利用者のトークでは、利用者から「無料だから申し込んだ。有料だと何か仕事を頼まないといけない気持ちになる。ただ、近所のおばちゃん的な人に来て欲しかったから。子育てが一段落したら自分もビジターをやってみたい」とのコメントがありました。一方、ビジターから「お子さんとの遊びで親とは違う遊び方ができ刺激があったと思う。自分もお子さんの成長がみられて楽しかった。」という声が聞かれました。

その後、会場やオンライン参加のビジターが思いを話しました。板橋区在住のビジターからは「いつか板橋区で立ち上げたい」、里親をしているビジターからは「ホームスタートは里親も使える数少ない支援である。もっと利用を広めて欲しい」など。会場からも質問が多数寄せられ、活発な意見交換ができました。

会場：エポック10研修室2

会場参加19人 オンライン参加18人

※お知らせ

8月31日からビジター養成講座が始まります。

少しでも気になった方大歓迎です。

TEL 080-4711-8840

メール hswakuwaku@gmail.com



ご支援よろしくお願いします

今回のみのご寄付から月単位での継続したものまでご利用いただくことが可能です。

カード決済又は、ゆうちょの口座へお振込みいただく方は、WAKUWAKUのホームページの寄付画面または、右記QRコードよりご確認ください。

必要情報を記入後、振り込みの場合は、クリック後及びメールに、振込先の口座番号等の情報が記載されています。

今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



<https://toshimawakuwaku.com/support/>

※下記口座に直接お振込みの場合は、必ずメールにて「お名前」「住所」「電話番号」「入金予定日」をお伝えください。ご連絡がなくお振込みいただきました場合は、寄付金控除の受領書が送付できないため、よろしくお願ひいたします。

お問合せメールアドレス : support@toshimawakuwaku.com

「ゆうちょ銀行からお振込の場合」

【口座番号】00170-5-728808 【加入者名】豊島子どもWAKUWAKUネットワーク

「ゆうちょ銀行以外からお振込の場合」

【店名】〇一八（読み ゼロイチハチ）【店番】018 【預金種目】普通預金 【口座番号】5639629

毎月1回WAKUWAKUの活動を紹介するメルマガを発行しております。皆さま是非ご登録下さい！！

